

平成20年4月から

後期高齢者医療制度が始まります

75歳以上の方は新しい制度へ移行

医療制度改革により、平成20年4月から現在の老人保健制度が廃止され、後期高齢者医療制度が始まります。これにより、75歳以上（一定の障害がある場合は65歳以上）の方は、新しい制度へ移行することとなります。

保険料はどうなるの？

後期高齢者にかかる医療費のうち、皆さんが医療機関で支払う窓口負担を除いた分の5割を公費（国・県・市区町村）で負担し、4割を現役世代からの支援（若年者の保険料）、残りの1割を皆さんから「保険料」として納めていただきます。保険料はこれから広域連合で決められ、原則、年金から差し引かれます。

お医者さんにかかるとき自己負担の割合は？

一般の方は1割負担、現役並みの所得のある方は3割負担と、今の老人保健制度と同じです。

受けられる給付は変わりませんか？

今の制度と変わらず、同様の給付が受けられます。

現在加入している医療制度はどうなるの？

75歳（一定の障害がある場合は65歳）以上の方は全て、今加入している医療制度から、後期



高齢者医療制度の加入者に切り替わります。なお、保険証は1人に1枚交付します。

いつから加入者となるの？

- 75歳になったとき（75歳の誕生日の当日から）
- 75歳以上の方が千葉県内の市区町村に転入してきたとき
- 65歳以上で一定の障害のある方が認定を受けたとき

〈問い合わせ先〉

保険年金課老人保健班
☎62-5882

37年ぶりに千葉県で開催決定

ゆめ半島千葉国体

旭市では卓球競技を開催

「今 房総の風となりこの一瞬に輝きを」のスローガンのもと、ゆめ半島千葉国体（第65回国民体育大会）が平成22年、千葉県で開催されることが正式に決定しました。

昭和48年の若潮国体以来37年ぶり2回目の開催となる今回は、県内30市町を会場に、公開競技を含めた39競技を開催。旭市では、総合体育館を会場に卓球競技を開催します。

国体ってどんな大会？

国体とは「国民体育大会」の略称で、毎年、会場を都道府県持ち回りで開催しています。オリンピック出場選手など日本を代表する選手が都道府県の代表として出場し、日ごろ鍛えた力と技を競い合う国内最大のスポーツの祭典です。

半世紀に一度の国体！

よく「半世紀に一度の国体」といわれますが、これは、会場を都道府県で順番に開催してい



▲マスコットキャラクター「チーバくん」

くと47年に1度の開催となります。

昭和48年の若潮国体では、質素堅実な「ふだん着国体」を目標に、選手村の開設や船舶を宿泊場所利用するなど、今までにない新しい大会として成功をおさめました。千葉県は、男女総合優勝、女子総合第2位という素晴らしい成績でした。

〈問い合わせ先〉

ゆめ半島千葉国体旭市準備委員会（教育委員会生涯学習課 国体準備班）
☎55-5729
FAX 55-5825